

# 令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鳥取県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	60,897 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	504	82.1	78.4	75.0
療養	-	-	-	-
結核	10	5.6	14.3	26.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	0.9	45.5	48.3
計	518	80.0	76.9	73.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.6	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	553,407	
決算規模(千円)	375,323,514	
標準財政規模(千円)	220,592,361	
財政力指数	0.28178	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	132.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,482,985			
1 経常収益	21,370,867			
(1) 医業収益	19,151,824			
(うち修正医業収益)	18,864,540			
入院収益	13,487,448			
外来収益	5,056,982			
診療収入計	18,544,430			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	607,394			
(うち他会計負担金)	287,284			
(2) 医業外収益	2,219,043			
(うち国・都道府県補助金)	92,507			
(うち他会計補助・負担金)	852,317			
(うち長期前受金戻入)	911,793			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	112,118			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,035,852			
2 経常費用	22,021,333			
(1) 医業費用	20,827,505			
職員給与費	9,535,465	49.8	60.8	53.3
材料費	6,489,380	33.9	27.1	33.0
(うち薬品費)	3,146,020	16.4	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,224,069	16.8	11.8	14.1
減価償却費	2,146,087	11.2	8.6	7.4
経費	2,579,264	13.5	22.0	17.2
(うち委託料)	1,523,914	8.0	11.8	10.2
研究研修費	68,154			
資産減耗費	9,155			
(2) 医業外費用	1,193,828			
(うち支払利息)	121,298	0.6	0.9	0.7
(3) 特別損失	14,519			
経常損益	-650,466			
純損益	-552,867			
累積欠損金	3,031,261			
経常収支比率	97.0		93.0	94.3
医業収支比率	92.0		83.9	89.6
修正医業収支比率	90.6		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	91.9		81.6	87.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	46,321,406
1 固定資産	33,588,322
(1) 有形固定資産	28,440,061
(2) 無形固定資産	14,958
(3) 投資その他の資産	5,133,303
2 流動資産	12,733,084
(1) 現金及び預金	8,180,845
(2) 未収金及び未収収益	4,247,411
(3) 貸倒引当金( )	4,534
(4) 貯蔵品	293,016
3 繰延資産	-
負債合計	34,533,549
1 固定負債	27,739,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,732,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,949,354
(6) リース債務	57,393
2 流動負債	5,188,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,333,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	859,231
(6) リース債務	33,018
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,838,878
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,605,730
(1) 長期前受金	11,926,530
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,320,800
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	11,787,857
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-4,842,323
(1) 資本剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-4,853,080
負債・資本合計	46,321,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,914,673	1,139,601
資本勘定繰入	810,112	797,944
計	2,724,785	1,937,545

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況(令和6年度)</b>		都道府県名	
		鳥取県	
市町村・組合名			
病院名	厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,734 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	300	78.5	73.3	71.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	77.5	72.3	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	12.4	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	553,407	
決算規模(千円)	375,323,514	
標準財政規模(千円)	220,592,361	
財政力指数	0.28178	
経常収支比率(%)	88.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	132.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,335,548			
1 経常収益	8,257,553			
(1) 医業収益	7,369,748			
(うち修正医業収益)	7,283,334			
入院収益	5,082,071			
外来収益	2,085,887			
診療収入計	7,167,958			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	201,790			
(うち他会計負担金)	86,414			
(2) 医業外収益	887,805			
(うち国・都道府県補助金)	27,845			
(うち他会計補助・負担金)	542,502			
(うち長期前受金戻入)	232,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	77,995			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,809,307			
2 経常費用	8,777,539			
(1) 医業費用	8,348,036			
職員給与費	4,794,187	65.1	60.8	61.3
材料費	1,708,300	23.2	27.1	26.2
(うち薬品費)	837,524	11.4	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	858,659	11.7	11.8	11.2
減価償却費	488,360	6.6	8.6	8.5
経費	1,335,498	18.1	22.0	21.8
(うち委託料)	864,485	11.7	11.8	11.9
研究研修費	18,164			
資産減耗費	3,527			
(2) 医業外費用	429,503			
(うち支払利息)	68,157	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	31,768			
経常損益	-519,986			
純損益	-473,759			
累積欠損金	1,821,819			
経常収支比率	94.1		93.0	92.2
医業収支比率	88.3		83.9	84.6
修正医業収支比率	87.2		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	86.9		81.6	82.3

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	46,321,406
1 固定資産	33,588,322
(1) 有形固定資産	28,440,061
(2) 無形固定資産	14,958
(3) 投資その他の資産	5,133,303
2 流動資産	12,733,084
(1) 現金及び預金	8,180,845
(2) 未収金及び未収収益	4,247,411
(3) 貸倒引当金( )	4,534
(4) 貯蔵品	293,016
3 繰延資産	-
負債合計	34,533,549
1 固定負債	27,739,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,732,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,949,354
(6) リース債務	57,393
2 流動負債	5,188,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,333,879
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	859,231
(6) リース債務	33,018
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,838,878
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,605,730
(1) 長期前受金	11,926,530
(2) 長期前受金収益化累計額( )	10,320,800
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	11,787,857
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-4,842,323
(1) 資本剰余金	10,757
(2) 利益剰余金	-4,853,080
負債・資本合計	46,321,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,430,365	628,916
資本勘定繰入	205,751	205,751
計	1,636,116	834,667

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		鳥取県	
市町村・組合名	鳥取市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,839 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨へ地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	340	68.8	69.3	68.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	68.8	69.3	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.8	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	188,465	
決算規模(千円)	111,350,916	
標準財政規模(千円)	52,777,949	
財政力指数	0.51	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	69.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,808,729			
1 経常収益	7,780,258			
(1) 医業収益	7,043,552			
(うち修正医業収益)	6,805,881			
入院収益	4,812,012			
外来収益	1,665,887			
診療収入計	6,477,899			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	565,653			
(うち他会計負担金)	237,671			
(2) 医業外収益	736,706			
(うち国・都道府県補助金)	10,046			
(うち他会計補助・負担金)	454,240			
(うち長期前受金戻入)	167,808			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	28,471			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,622,075			
2 経常費用	8,622,075			
(1) 医業費用	8,242,256			
職員給与費	4,700,471	66.7	60.8	61.3
材料費	1,721,696	24.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	868,053	12.3	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	800,822	11.4	11.8	11.2
減価償却費	569,448	8.1	8.6	8.5
経費	1,122,439	15.9	22.0	21.8
(うち委託料)	681,518	9.7	11.8	11.9
研究研修費	114,527			
資産減耗費	13,675			
(2) 医業外費用	379,819			
(うち支払利息)	17,649	0.3	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損	-841,817			
純損	-813,346			
累積欠損金	375,237			
経常収支比率	90.2		93.0	92.2
医業収支比率	85.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	82.6		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	8.9		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	82.2		81.6	82.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,486,873
1 固定資産	7,015,570
(1) 有形固定資産	6,934,856
(2) 無形固定資産	27,491
(3) 投資その他の資産	53,223
2 流動資産	3,471,303
(1) 現金及び預金	1,683,577
(2) 未収金及び未収収益	1,277,863
(3) 貸倒引当金( )	1,675
(4) 貯蔵品	101,103
3 繰延資産	-
負債合計	5,074,988
1 固定負債	3,488,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	970,571
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,509,594
(6) リース債務	7,953
2 流動負債	1,202,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,656
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	361,061
(6) リース債務	2,295
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	514,269
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	383,980
(1) 長期前受金	2,305,401
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,921,421
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	5,411,885
1 本金	5,787,122
2 剰余金	-375,237
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-375,237
負債・資本合計	10,486,873
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	671,449	691,911
資本勘定繰入	390,863	398,063
計	1,062,312	1,089,974

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	岩美町				
病院名	国保岩美病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,582 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	17	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	53	67.7	61.4	51.5
療養	46	82.6	69.3	67.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.7	65.0	58.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	17.8	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	10,799	
決算規模(千円)	7,658,725	
標準財政規模(千円)	4,785,578	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,940,672				
1 経常収益	1,940,672				
(1) 医業収益	1,575,546				
(うち修正医業収益)	1,521,448				
入院収益	727,749				
外来収益	704,977				
診療収入計	1,432,726				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	142,820				
(うち他会計負担金)	54,098				
(2) 医業外収益	365,126				
(うち国・都道府県補助金)	28,341				
(うち他会計補助・負担金)	301,986				
(うち長期前受金戻入)	27,220				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,216,466				
2 経常費用	2,214,393				
(1) 医業費用	2,098,909				
職員給与費	1,136,860	72.2	60.8	82.0	
材料費	360,845	22.9	27.1	14.2	
(うち薬品費)	268,960	17.1	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	89,770	5.7	11.8	6.1	
減価償却費	173,516	11.0	8.6	12.5	
経費	416,507	26.4	22.0	34.4	
(うち委託料)	264,862	16.8	11.8	16.9	
研究研修費	2,633				
資産減耗費	8,548				
(2) 医業外費用	115,484				
(うち支払利息)	38,998	2.5	0.9	1.2	
(3) 特別損失	2,073				
経常損益	-273,721				
純損益	-275,794				
累積欠損金	1,616,337				
経常収支比率	87.6		93.0	93.1	
医業収支比率	75.1		83.9	69.6	
修正医業収支比率	72.5		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	71.6		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,137,621
1 固定資産	3,181,913
(1) 有形固定資産	3,161,713
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	20,200
2 流動資産	955,708
(1) 現金及び預金	679,967
(2) 未収金及び未収収益	241,735
(3) 貸倒引当金( )	1,304
(4) 貯蔵品	35,310
3 繰延資産	-
負債合計	2,513,040
1 固定負債	1,852,433
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,852,433
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	511,552
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	274,792
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,076
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	130,923
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	149,055
(1) 長期前受金	474,324
(2) 長期前受金収益化累計額( )	325,269
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,624,581
1 資本金	3,240,918
2 剰余金	-1,616,337
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,616,337
負債・資本合計	4,137,621
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	325,394	356,084
資本勘定繰入	135,116	135,116
計	460,510	491,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	102.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	智頭町				
病院名	国保智頭病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	12,639 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	52	79.2	75.1	77.5
療養	47	89.1	81.6	87.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	83.9	78.2	82.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	24.0	18.6

設立団体の状況		
人口(人)	6,427	
決算規模(千円)	6,825,542	
標準財政規模(千円)	4,187,975	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	25.4

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,968,025				
1 経常収益	1,967,934				
(1) 医業収益	1,453,975				
(うち修正医業収益)	1,427,867				
入院収益	950,486				
外来収益	339,698				
診療収入計	1,290,184				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	163,791				
(うち他会計負担金)	26,108				
(2) 医業外収益	513,959				
(うち国・都道府県補助金)	19,966				
(うち他会計補助・負担金)	411,734				
(うち長期前受金戻入)	74,354				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	91				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,074,763				
2 経常費用	2,074,763				
(1) 医業費用	1,983,041				
職員給与費	1,288,600	88.6	60.8	82.0	
材料費	182,248	12.5	27.1	14.2	
(うち薬品費)	54,057	3.7	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,024	5.9	11.8	6.1	
減価償却費	149,838	10.3	8.6	12.5	
経費	359,037	24.7	22.0	34.4	
(うち委託料)	149,665	10.3	11.8	16.9	
研究研修費	3,169				
資産減耗費	149				
(2) 医業外費用	91,722				
(うち支払利息)	37,535	2.6	0.9	1.2	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-106,829				
純損益	-106,738				
累積欠損金	3,224,937				
経常収支比率	94.9		93.0	93.1	
医業収支比率	73.3		83.9	69.6	
修正医業収支比率	72.0		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	22.2		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	30.1		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	22.2		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	73.7		81.6	68.2	

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,226,528
1 固定資産	3,632,644
(1) 有形固定資産	3,628,500
(2) 無形固定資産	1,305
(3) 投資その他の資産	2,839
2 流動資産	593,884
(1) 現金及び預金	366,488
(2) 未収金及び未収収益	224,839
(3) 貸倒引当金( )	1,132
(4) 貯蔵品	2,692
3 繰延資産	-
負債合計	3,262,817
1 固定負債	2,106,543
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,875,500
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	231,043
(6) リース債務	-
2 流動負債	430,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	238,049
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	79,983
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,934
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	725,384
(1) 長期前受金	1,063,321
(2) 長期前受金収益化累計額( )	337,937
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	963,711
1 資本金	4,155,579
2 剰余金	-3,191,868
(1) 資本剰余金	33,069
(2) 利益剰余金	-3,224,937
負債・資本合計	4,226,528
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	437,842	437,842
資本勘定繰入	158,115	158,115
計	595,957	595,957

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	221.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		鳥取県	
市町村・組合名	南部町		
病院名	西伯病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	
建物面積	15,798 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	11	指定病院の状況	救 へ 輪
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	49	79.9	77.1	71.8
療養	30	88.9	78.1	82.6
結核	-	-	-	-
精神	99	76.3	73.9	74.3
感染症	-	-	-	-
計	178	79.4	75.7	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	19.7	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	10,323	
決算規模(千円)	8,156,192	
標準財政規模(千円)	4,746,785	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	8.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,463,468				
1 経常収益	2,463,468				
(1) 医業収益	1,816,717				
(うち修正医業収益)	1,782,382				
入院収益	1,234,228				
外来収益	434,191				
診療収入計	1,668,419				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	148,298				
(うち他会計負担金)	34,335				
(2) 医業外収益	646,751				
(うち国・都道府県補助金)	38,209				
(うち他会計補助・負担金)	519,346				
(うち長期前受金戻入)	62,509				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,476,105				
2 経常費用	2,476,105				
(1) 医業費用	2,374,679				
職員給与費	1,518,654	83.6	60.8	108.5	
材料費	167,242	9.2	27.1	9.4	
(うち薬品費)	88,821	4.9	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,195	3.9	11.8	1.4	
減価償却費	188,142	10.4	8.6	12.6	
経費	494,939	27.2	22.0	34.8	
(うち委託料)	289,755	15.9	11.8	15.4	
研究研修費	5,154				
資産減耗費	548				
(2) 医業外費用	101,426				
(うち支払利息)	44,222	2.4	0.9	2.1	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-12,637				
純損益	-12,637				
累積欠損金	1,057,291				
経常収支比率	99.5		93.0	95.5	
医業収支比率	76.5		83.9	60.3	
修正医業収支比率	75.1		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	30.5		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	77.1		81.6	61.5	

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,447,758
1 固定資産	2,840,516
(1) 有形固定資産	2,839,986
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	530
2 流動資産	607,242
(1) 現金及び預金	207,413
(2) 未収金及び未収収益	386,720
(3) 貸倒引当金( )	3,046
(4) 貯蔵品	15,825
3 繰延資産	-
負債合計	3,076,106
1 固定負債	2,168,395
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,850,589
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	17,806
2 流動負債	474,544
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	255,426
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	120,556
(6) リース債務	5,775
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	83,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	433,167
(1) 長期前受金	1,117,064
(2) 長期前受金収益化累計額( )	683,897
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	371,652
1 資本金	1,081,888
2 剰余金	-710,236
(1) 資本剰余金	327,639
(2) 利益剰余金	-1,037,875
負債・資本合計	3,447,758
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	524,020	553,681
資本勘定繰入	90,244	90,244
計	614,264	643,925

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		鳥取県	
市町村・組合名	日南町		
病院名	日南町国民健康保険 日南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	6,645 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	59	49.5	55.0	59.0
療養	40	66.6	68.0	62.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	56.4	60.2	60.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.0	16.1	29.0

設立団体の状況		
人口(人)	4,196	
決算規模(千円)	7,780,410	
標準財政規模(千円)	3,813,960	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,235,766			
1 経常収益	1,235,766			
(1) 医業収益	872,094			
(うち修正医業収益)	763,179			
入院収益	510,717			
外来収益	199,991			
診療収入計	710,708			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	161,386			
(うち他会計負担金)	108,915			
(2) 医業外収益	363,672			
(うち国・都道府県補助金)	19,310			
(うち他会計補助・負担金)	294,592			
(うち長期前受金戻入)	28,520			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,271,809			
2 経常費用	1,271,809			
(1) 医業費用	1,234,599			
職員給与費	743,963	85.3	60.8	82.0
材料費	91,024	10.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	20,183	2.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,841	8.1	11.8	6.1
減価償却費	89,928	10.3	8.6	12.5
経費	302,369	34.7	22.0	34.4
(うち委託料)	118,309	13.6	11.8	16.9
研究研修費	5,172			
資産減耗費	2,143			
(2) 医業外費用	37,210			
(うち支払利息)	3,606	0.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-36,043			
純損益	-36,043			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.2		93.0	93.1
医業収支比率	70.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	61.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	46.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	32.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	65.4		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,583,534
1 固定資産	1,361,192
(1) 有形固定資産	816,916
(2) 無形固定資産	652
(3) 投資その他の資産	543,624
2 流動資産	1,222,342
(1) 現金及び預金	1,087,834
(2) 未収金及び未収収益	131,698
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	2,736
3 繰延資産	-
負債合計	705,541
1 固定負債	414,861
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	414,861
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	180,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	87,134
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,567
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	34,281
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	110,198
(1) 長期前受金	342,591
(2) 長期前受金収益化累計額( )	232,393
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,877,993
1 本金	843,075
2 剰余金	1,034,918
(1) 資本剰余金	25,443
(2) 利益剰余金	1,009,475
負債・資本合計	2,583,534
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	432,306	403,507
資本勘定繰入	52,394	-
計	484,700	403,507

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鳥取県	
市町村・組合名	日野病院組合				
病院名	日野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,247 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	21	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	82.2	78.4	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	82.2	78.4	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		29.1	26.6	33.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,060,040			
1 経常収益	2,060,040			
(1) 医業収益	1,563,090			
(うち修正医業収益)	1,477,874			
入院収益	975,936			
外来収益	432,455			
診療収入計	1,408,391			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	154,699			
(うち他会計負担金)	85,216			
(2) 医業外収益	496,950			
(うち国・都道府県補助金)	2,357			
(うち他会計補助・負担金)	386,372			
(うち長期前受金戻入)	79,787			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,011,580			
2 経常費用	2,011,580			
(1) 医業費用	1,936,320			
職員給与費	1,031,880	66.0	60.8	82.0
材料費	251,416	16.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	117,511	7.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	133,725	8.6	11.8	6.1
減価償却費	175,874	11.3	8.6	12.5
経費	468,696	30.0	22.0	34.4
(うち委託料)	328,706	21.0	11.8	16.9
研究研修費	5,604			
資産減耗費	2,850			
(2) 医業外費用	75,260			
(うち支払利息)	12,359	0.8	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	48,460			
純損益	48,460			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.4		93.0	93.1
医業収支比率	80.7		83.9	69.6
修正医業収支比率	76.3		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	22.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	22.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	79.0		81.6	68.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,346,197
1 固定資産	1,879,114
(1) 有形固定資産	1,879,114
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,467,083
(1) 現金及び預金	1,055,995
(2) 未収金及び未収収益	380,964
(3) 貸倒引当金( )	539
(4) 貯蔵品	13,404
3 繰延資産	-
負債合計	1,829,958
1 固定負債	928,089
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	552,568
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	375,521
(6) リース債務	-
2 流動負債	373,532
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160,675
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	74,127
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	128,095
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	528,337
(1) 長期前受金	1,235,268
(2) 長期前受金収益化累計額( )	706,931
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額( )	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額( )	-
資本合計	1,516,239
1 資本金	454,219
2 剰余金	1,062,020
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,062,020
負債・資本合計	3,346,197
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	623,802	471,588
資本勘定繰入	100,664	-
計	724,466	471,588

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。